109-364390-N-03

＊2011年4月1日改訂（第4版）
＊＊2011年2月1日改訂（第3版）

医療機器承認番号　21500BZY00293000

機械器具 56 採血又は輸血用器具

管理医療機器　血液ガス検体採取用注射筒　16785000

BD クリティカルケアシリンジ

再使用禁止

【警告】

透析回路等の陰圧回路から採血する場合は、手動吸引による採血を行うこと。［血液に気泡が混入する可能性がある。］

【禁忌・禁止】

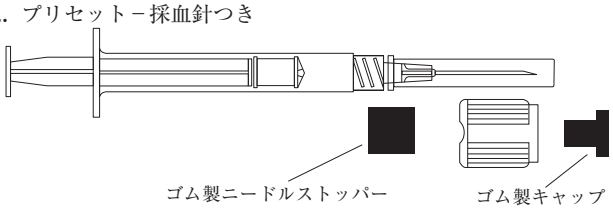
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. プリセット－安全機能付き採血針つき
（BD エクリプスタイプ）

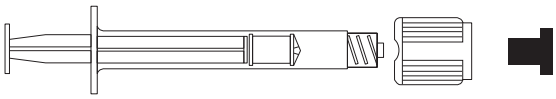


2. プリセット－採血針つき



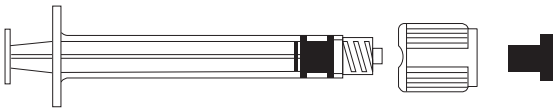
（製品により付属品の組み合わせは異なる）

3. プリセット－採血針なし



（製品により付属品の組み合わせは異なる）

4. A ライン－採血針なし



（製品により付属品の組み合わせは異なる）

針の材質：ステンレス

【使用目的、効能又は効果】

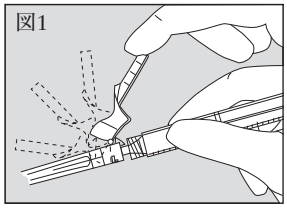
1. 本品は、主として血液ガス及び電解質測定用の動脈血を採取する器具である。
2. 本品は、滅菌済みの製品であり、直ちに使用することができる。

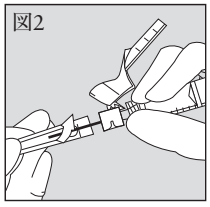
〈効能又は効果に関連する使用上の注意〉

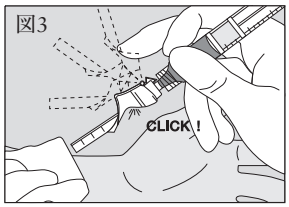
注射に使用しないこと。

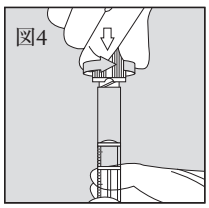
【操作方法又は使用方法等】

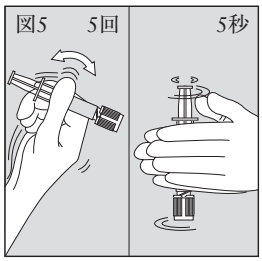
1. プリセット－安全機能付き採血針つき（BD エクリプスタイプ）
   1）プランジャーを採血量の位置にセットする。
   2）片手でシリンジを持ち、薄紫色の安全シールドをもう一方の手で手前に引く。（図 1）
   3）半透明の針カバーを取り外して（図 2）動脈穿刺し、血液がシリンジ内のフィルターにしみ込むまで採取する。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルターの通気孔膜から排出される。血液がフィルターにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
   4）抜針し、直ちに安全シールドを人差し指又は中指でクリック音が鳴るまで作動させる。（図 3）
   5）針部分を安全シールドごとシリンジから取り外し、各施設で定められた手順に従い適切に廃棄する。
   6）シリンジに BD ヘモガードキャップをしっかりと取り付ける。（図 4）
   7）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
＊ 8）検体はできるだけ早く（PaO_2、$PaCO_2$、乳酸を含む検査項目は 15 分以内に）測定する。測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）

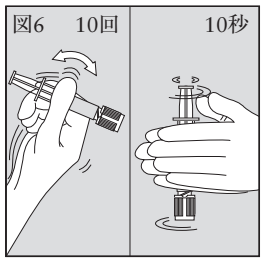












2. プリセット－採血針つき
1）プランジャーを採血量の位置にセットする。
2）半透明の針カバーを取り外して動脈穿刺し、血液がシリンジ内のフィルターにしみ込むまで採取する。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルターの通気孔膜から排出される。血液がフィルターにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
3）抜針し、針部分をシリンジから取り外して、各施設で定められた手順に従い適切に廃棄する。付属のゴム製ニードルストッパーがある場合には、ニードルストッパーに針を刺すことにより、安全に廃棄することができる。
4）シリンジにキャップをしっかりと取り付ける。（図 4）
5）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
＊ 6）検体はできるだけ早く（PaO_2、$PaCO_2$、乳酸を含む検査項目は 15 分以内に）測定する。測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）

3. プリセット－採血針なし
1）プランジャーを採血量の位置にセットする。
2）動脈ラインから採血する場合は、シリンジをラインに確実に接続し血液を流入させる。動脈穿刺により採血する場合は、適切な採血針をシリンジにしっかりと取り付け、動脈穿刺する。血液が流入すると、シリンジ内の空気はフィルターの通気孔膜から排出される。血液がフィルターにしみ込むことにより、通気孔膜は自動的に閉じる。
3）動脈ラインから採血した場合は、採血後シリンジをラインから取り外す。動脈穿刺により採血した場合は、抜針し、針部分をシリンジから取り外し、施設ごとに規定された手順に従い適切に廃棄する。シリンジにキャップをしっかりと取り付ける。（図 4）。
4）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。（図 5）
＊ 5）検体はできるだけ早く（PaO_2、$PaCO_2$、乳酸を含む検査項目は 15 分以内に）測定する。測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。（図 6）

4. A ライン－採血針なし
1）プランジャーを最後まで押した状態にする。
2）動脈ラインから採血する場合は、シリンジをラインに確実に接続する。動脈穿刺により採血する場合は、適切な採血針をシリンジにしっかりと取り付け、動脈穿刺する。
3）プランジャーをゆっくりと引き必要量の血液を採取する。
4）動脈ラインから採血した場合は採血後シリンジをラインから取り外す。動脈穿刺により採血した場合は、抜針し、針部分をシリンジから取り外し施設ごとに規定された手順に従い適切に廃棄する。シリンジにキャップをしっかりと取り付ける。
5）シリンジの転倒混和を 5 回、両手でのきりもみ回転を 5 秒間行い、検体と抗凝固剤を十分に混和させる。
＊ 6）検体はできるだけ早く（PaO_2、$PaCO_2$、乳酸を含む検査項目は 15 分以内に）測定する。測定前には再度、シリンジの転倒混和を 10 回、両手でのきりもみ回転を 10 秒間行い、検体を十分に混和させる。

**【使用上の注意】
〈重要な基本的注意〉
●包装が破損・汚染している場合や製品に破損などの異常が認められる場合は使用しないこと。
●包装を開封したら直ちに使用すること。
●使用前に、針がシリンジにしっかりと固定されているか確認し、針カバーを取り外したら速やかに穿刺すること。
●採血時には、血液との接触を防ぐために手袋を着用すること。
●安全シールドの作動時は針刺し事故に留意し、作動後はシールドが完全にロックされ針が完全に覆われていることを確認すること。
●安全シールドがついていない場合、使用後の針はゴム製ニードルストッパーに刺すか施設ごとの手順に従い、針刺し事故や感染の防止に留意して、適切な耐貫通性廃棄容器に廃棄すること。
●採血部位は穿刺前に消毒し、抜針後は 5 分間以上圧迫し続けて止血すること。
●血管に穿刺した状態でプランジャーを押し込まないこと。［血管内に気泡が混入する可能性がある。］
●採血後シリンジ内に気泡がある場合は、気泡を抜いてから検体を混和すること。［誤った検査結果を招く可能性がある。］
●検体の取り違いを防ぐため、シリンジに適切なラベリングを行うこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
〈貯蔵・保管方法〉
水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保存すること。
〈使用期限〉
外箱及び個包装に記載。

【包装】
1 箱 100 セット入り

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】
製造販売業者：
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
TEL：0120-8555-90（BDお客様情報センター）
外国製造業者：
ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー
（Becton, Dickinson and Company）
国名：イギリス